

熊本県をはじめとする一連の地震により、かつてないほど地盤が揺れ、土砂災害が発生しやすい状態になっています。土砂災害から身を守るために、降雨の際は、**土砂災害に注意してください。**

## <注意すべき3つの事項>

- ◎ 土砂災害警戒区域はもちろん、勾配が緩い斜面や溪流でもわずかな降雨で土砂災害の恐れがあります。危険なところに近づかないようお願いします。
- 大雨注意報、大雨警報や土砂災害警戒情報に十分注意をお願いします。
- 早めに避難所などの安全な場所に避難をお願いします。

## 地震のあとは

# 土砂災害に注意



例えば、阪神・淡路大震災のあと、このようなことがありました。

## ■地震後の降雨で崩壊が発生

阪神・淡路大震災で大きく揺さぶられた六甲山地では、700カ所以上で山腹が崩れる等の土砂災害が発生しました。そして、地震後の降雨等で、崩壊地の数は2000箇所以上に増加しました。特に、神戸市灘区の鶴甲地区ではその後の余震や降雨で崩壊が拡大しました。



震災直後の鶴甲地区  
(1995年5月撮影)

震災後7月の豪雨で  
新たな崩壊が発生  
(1995年8月撮影)